第1号南予レクリエーション都市公園 日本庭園の照明†

正会員 石村 雄司*

1. はじめに

愛媛県では、闘牛で有名な宇和島から椿咲く足摺岬までの50 kmの南宇和郡城辺町に至る南北60 kmに及ぶ広大な地域に、七つの公園からなる南予レクリエーションセンターを、昭和52年度より建設中である。これは国の助成を受けて、風光明媚な四国最西南の地に、県民の憩いの場づくりと観光資源の再開発をめざそうというものである。

七つの都市公園の中には野球場、テニスコート、四国一の大プール、自然林を生かしたユニークな子供動物園、色とりどりの熱帯魚が乱舞する海中公園等が整備される。今回

図3 大森山テニスコート

図1 日本庭園

図2 大森山野球場

はその中の一つである栗林公園の十数倍の広さをもつ、第1号南予レクリエーション都市公園・日本庭園の照明施設を、紹介する(図1, 図2, 図3)。

2. 施設概要

本日本庭園は、予想されるレクリエーション活動の増大に対応して、南予の美しい自然と豊かな民情あふれる風土を背景に、緑と水をテーマとして、「見る・憩う・楽しむ・学ぶ・鍛える」をおこなった新しいレクリエーション施設で、南予の後進性を打破し、活力ある地域社会を建設するために建設された。

庭園は池を大きくとった池泉回遊式庭園で、各所に景観的な見世場を造るとともに、郷土の「山・里・海・町」の文化景観を表わすようゾーニングされている(図4)。

施設概要

総面積

166,000 m²

図4 ゾーニング

† Illumination of JAPAN Garden No.1 Nanyo Recreation city Garden

* 日本電機大阪支店

Yuji Ishimura

主な施設	池	54,375 m ²
	芝生広場	9,403 m ²
	園路	12,562 m ²
	植栽地	66,707 m ²
	菖蒲園	3,264 m ²
	構造物	1,435 m ²

3. 照 明 設 備

3.1 照 明 対 象

本庭園は、和風の池泉回遊式庭園ゆえ、園路および広場を主に照明柱を配置し、夜間の視環境をより効果的にするため、植栽・庭石・あずまや等の近辺にも照明柱を配置した。照明柱は総数で56灯となった。

3.2 照 明 器 具

照明器具は、和風定園にマッチしたボールヘッド形の、純日本的な灯籠形を採用した。本体は園内の四季の景観に合うように黄銅製で銅古味仕上げとなっている（図 5）。

品番	品 名	材 質	個数	摘 要
1	灯体かさ	BsP	1	銅古味仕上げ
2	ガラス	強化ガラス	4	内面フロスト
3	ぎばし	BsC	1	φ 40
4	灯体支持	SS	2	
5	ホルターハイク	SUS	1	φ 101.6
6	ソケット	磁器	1	E39
7	水銀ランプ	HF250X	1	

図 5 照明器具姿図

3.3 光 源

光源は、樹木・芝生・花壇等の色の美しさを引き立たせる 250 W 水銀ランプを使用した。照度分布（初期値）は図 6 のとおり。

3.4 照 明 ポ ー ル

照明ポールは図 7 にあるように、アルミポールを使用した。

図 6 等照度曲線図（初期値）

図 7 照明柱姿図

4. お わ り に

本庭園は、昭和60年4月に「南楽園」として開園され、県民はもとより各地よりの旅行者の憩いの場となっており、特に夜間は、四季折々の景観にもマッチした照明により多くの人々の心をなごませている。おわりに、この報告を作成するに当たり、関係各位の協力に感謝いたします。

所 在 地

施 主 愛媛県土木部

設 計 (株)大建設計工程

電気工事 (有)田中電設

照明器具 日本電地(株)

(受付 1987 年 9 月 22 日)